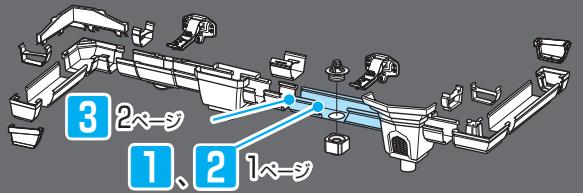
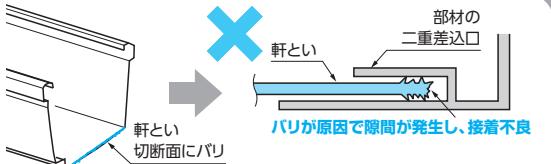


ジェイスケア PJ70

④軒といの切断



■バリ取りをする時は必ず金切りばさみ、ヤスリなどを使う
切断面のバリは必ず取ってください。
隙間が発生し水漏れの可能性があります。

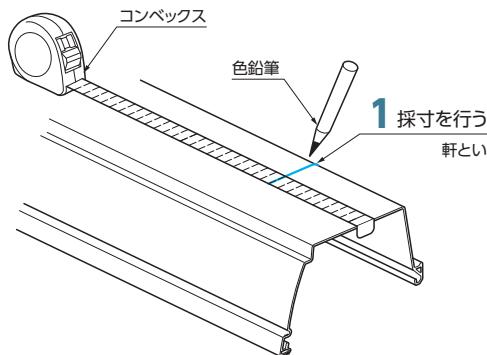
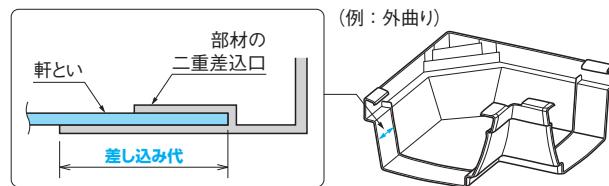


1 軒といの採寸

- 1 コンベックスを使って施工に必要な軒といの長さの採寸を行う。
採寸の際は、差し込み代を考慮してください。

ポイント

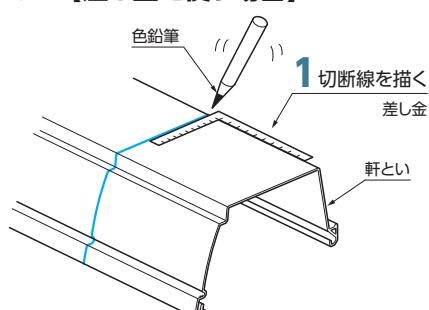
- 軒といの採寸は部材の差し込み代分を含めて採寸してください。



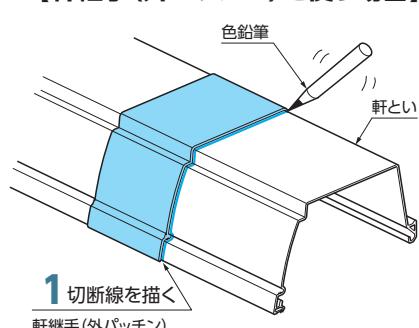
2 軒といの切断

- 1 軒といの切斷箇所に差し金などをあて、
切斷線を描く。
(直角切断)

【差し金を使う場合】



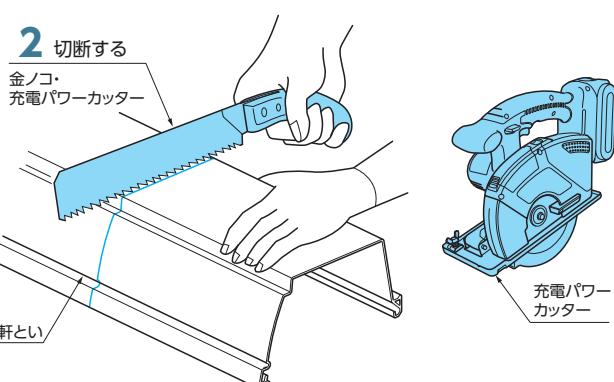
【軒継手(外パッキン)を使う場合】



- 2 軒といは金ノコ、充電パワーカッターなどで
切断する。

お願い

- 充電パワーカッター使用時の安全に関するご注意
- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - 安全カバーは絶対に外さないでください。
 - 作業時は保護具を使用してください。切断くずや粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
 - 薄板金工刃を使用してください。

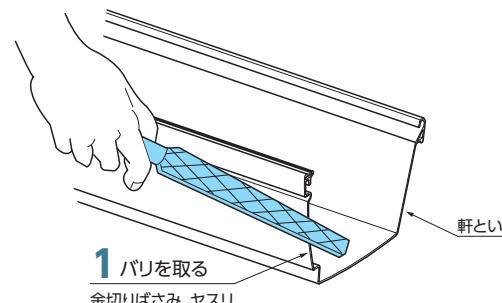


3 > 切断面の補修

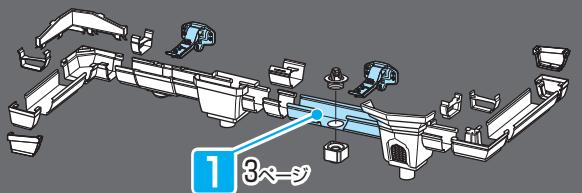
1 軒とい切断面のバリは金切りばさみ、ヤスリなどで必ず取る。

お願い

- 切断面のバリは軒継手や曲りの取り付け時に隙間が発生する場合がありますので必ず取ってください。(水漏れ防止のため)
- 切断面は接着剤を塗布し、端面処理をした方がさびの防止に効果的です。



⑤軒といの施工



1 3ページ



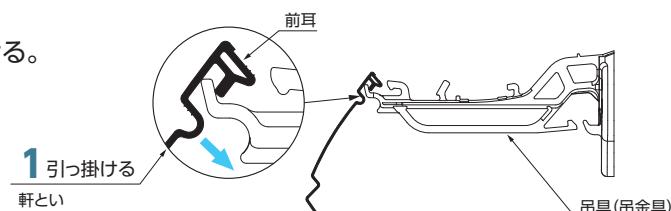
必ず守る

■前耳・後耳をしっかり吊具(吊金具)にはめ込む

軒といの外れ、落下により、けがをするおそれがあります。

1 吊具(吊金具)への軒といの取り付け

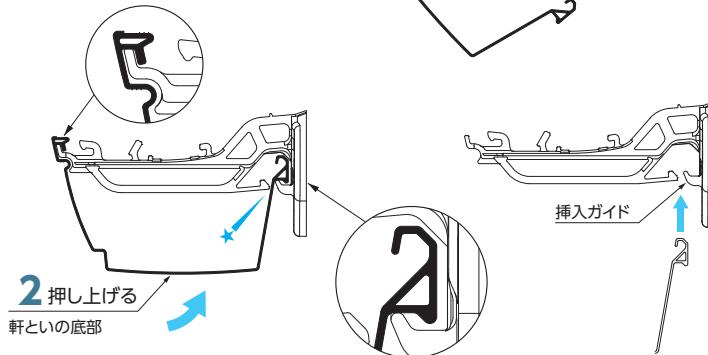
- 1 軒といの前耳部を吊具(吊金具)の先端に掛ける。



- 2 軒といの底部を押し上げ、
軒といの後耳部に吊具(吊金具)を
はめ込む。

ポイント

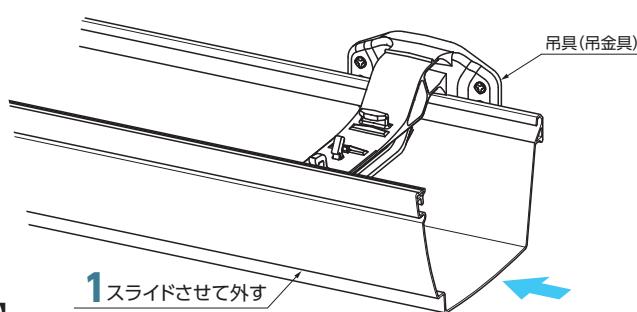
- 必ず前耳から取り付けてください。
後耳を入れた後には入りません。
- 軒といの後耳が吊具(吊金具)の
挿入ガイドの外へ入らないように
してください。



- 3 吊具(吊金具)がはまっていることを確認する。

【軒といの外し方(軒継手、曲りが取り付いていない場合)】

- 軒といを横にスライドさせて外す。

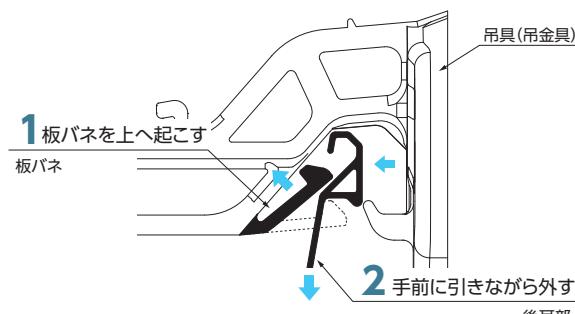


【軒といの外し方(軒継手などでスライドできない場合)】

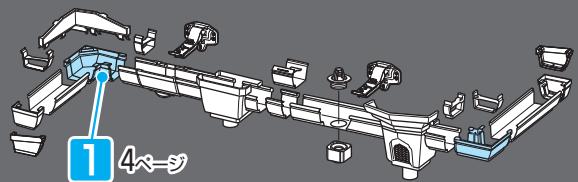
- 吊具(吊金具)の後耳部固定の板バネを上側へ起こす。
- 軒といの後耳を手前に引きながら下へ下げて
1か所ずつ外す。

ポイント

- 吊具(吊金具)の板バネを押さえるように軒といの後耳
を手前に引きながら下げると外れます。



⑥内曲り、外曲りの施工



1 4ページ

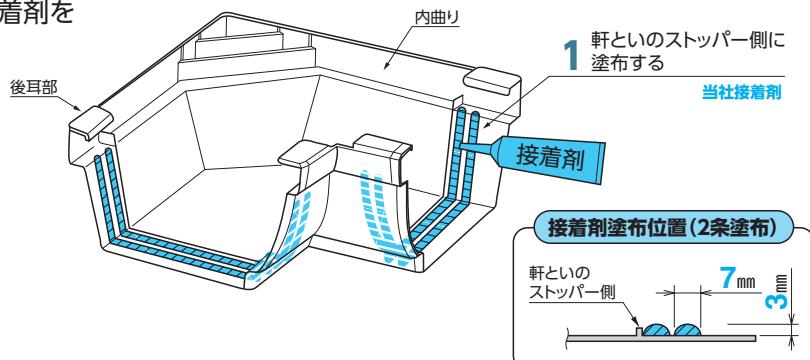


必ず守る

■接着剤は必ず接着剤塗布位置に塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

1 内曲り、外曲り、入母屋曲り、入母屋てり曲り(パッキン式)の施工

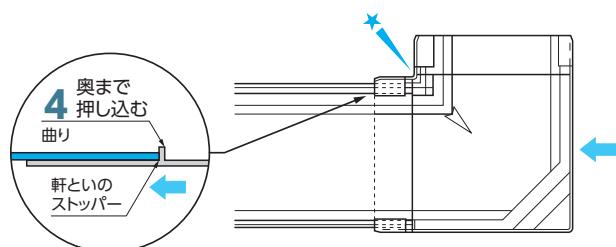
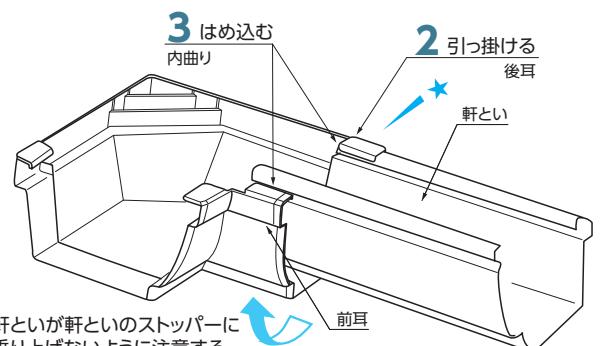
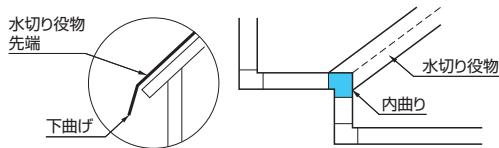
- 1** 曲り(外曲り、内曲り)の軒といい接着面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社接着剤)



- 2** 曲りの後耳部を軒といい後耳に引っ掛ける。
3 接着剤をかき取らないよう軒といいを沿わせながら前耳部にはめ込む。
4 軒といいが曲りの奥まで入るように、曲りを押し込む。

お願い

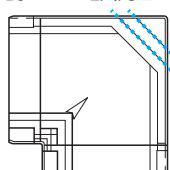
- 接着剤が軒といい曲りの外側にはみ出したり、付着したりした場合、放置しておくとその部分が変色しますので布ですばやくふき取ってください。
- 内曲り箇所の水切り役物の軒先側先端は必ず下曲げしてください。(雨水飛び出し防止のため)



ポイント

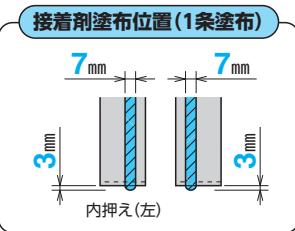
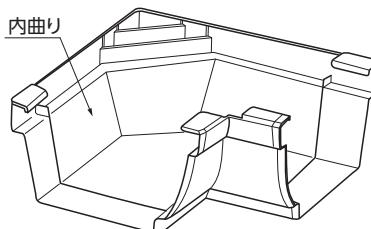
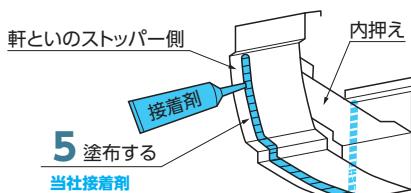
- 内曲りが隅木に当たる場合、2段階で切り落し調整が可能です。

隅木調整カット部(内曲りのみ)

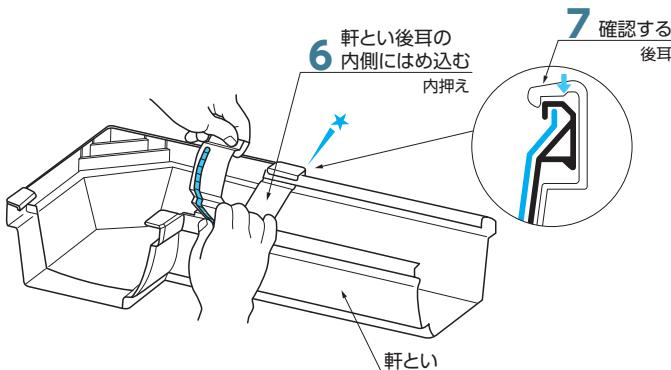


ジェイスケア PJ70 / ⑥内曲り、外曲りの施工

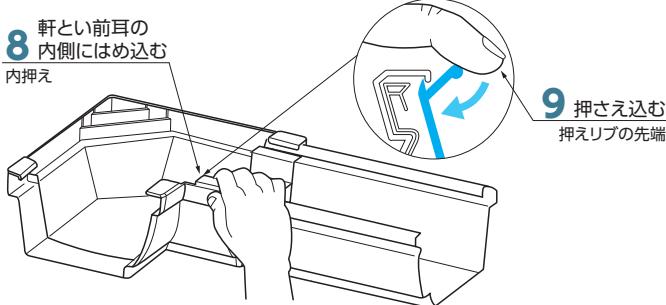
- 5** 内押えの外側に接着剤を
全周ひも状に切れ目なく塗布する。
(当社接着剤)



- 6** 内押えを軒とい後耳の内側(外パッチンの内側)に
はめ込む。



- 7** 確実にはまっているか確認する。

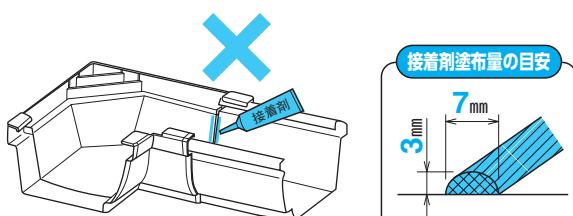


- 8** 内押えを接着剤をかき取らないように軒といを
手前に広げながら軒とい前耳の内側(曲りの内側)に
はめ込む。

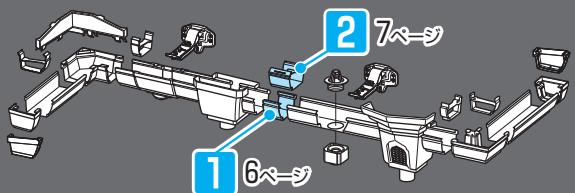
- 9** 内押えの押さえリブの先端を指で押さえ込む。

お願い

- 当社品以外の接着剤を使用しますと、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 当社品でも、塗布量が多すぎると変形、割れが発生することがあります。
- 当社タニシールなどシーリング剤を使用したりすると、変形や割れが発生しやすくなりますので避けてください。
- 接着剤は切れ目なく塗布してください。途切れ途切れに塗布すると水漏れのおそれがあります。



⑦軒継手の施工



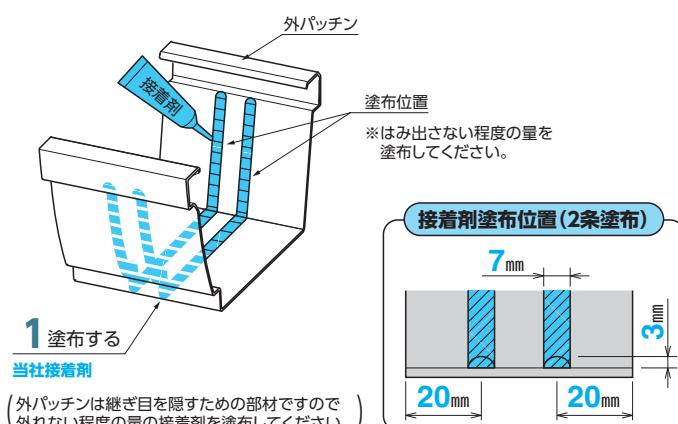
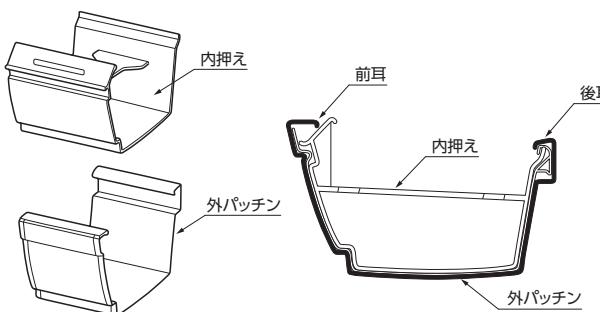
必ず守る

- 接着剤は必ず接着剤塗布位置に切れ目なく塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

1 軒継手(外パッキン)の取り付け

- 1 外パッキンの軒とい接着面に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。**

(当社接着剤)



お願い

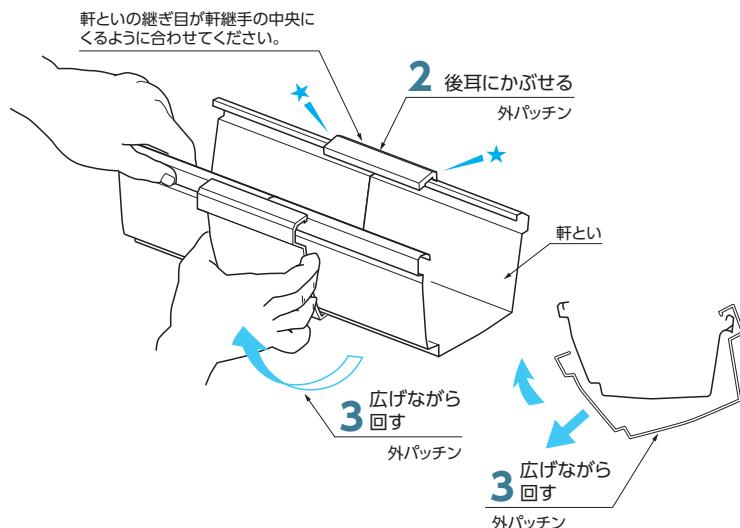
- 接着剤塗布位置は商品別編を参考ください。

- 2 外パッキンを軒といの後耳にかぶせる。**

- 3 接着剤をかき削らないように外パッキンを手前に広げながら回す。**

ポイント

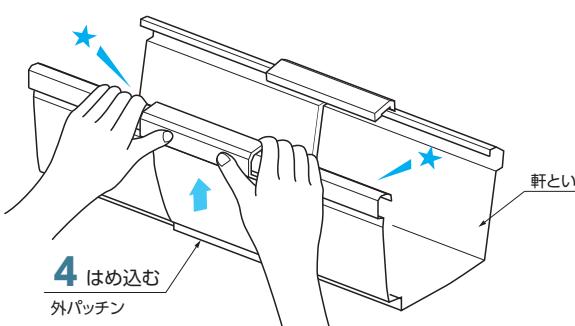
- 軒といの継ぎ目が軒継手の中央にくるように合わせてください。



- 4 外パッキンを軒といの前耳にはめ込む。**

お願い

- 接着剤が軒とい・軒継手の外側にはみ出したり、付着したりした場合、放置しておくとその部分が変色しますので布ですばやくふき取ってください。



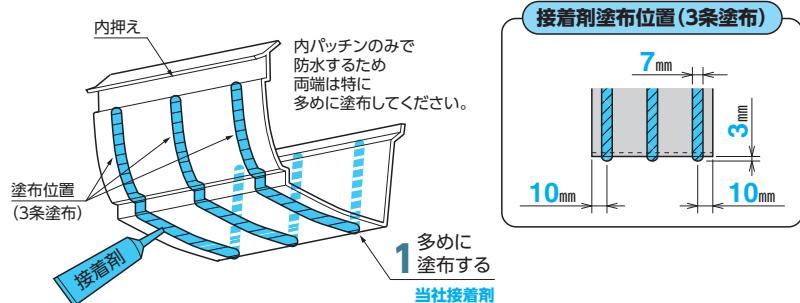
2 軒継手(内押え)の取り付け

1 内押えの軒といい接着面に接着剤を全周ひも状に

切れ目なく塗布する。

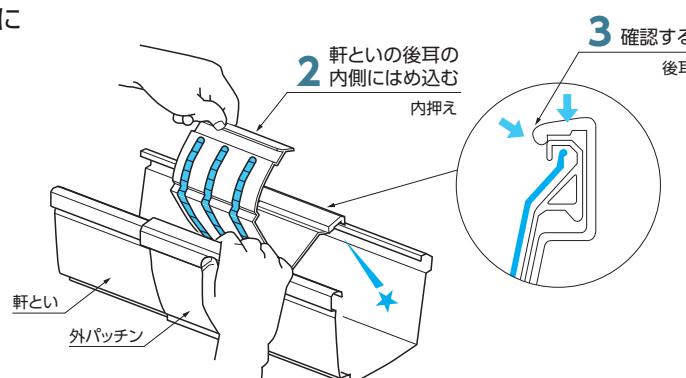
軒といいの内面のため、はみ出しても
外観上問題ありません。

(当社接着剤)



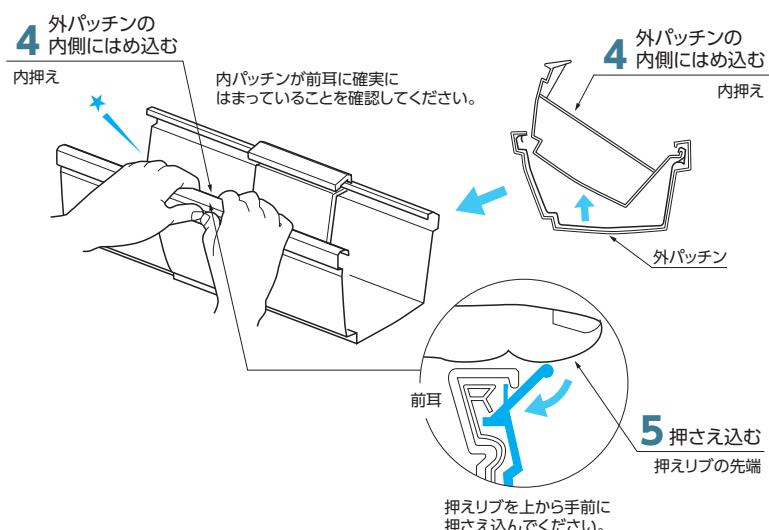
2 内押えを軒といい後耳の内側(外パッキンの内側)に はめ込む。

3 確実にはめ込まれているか確認する。

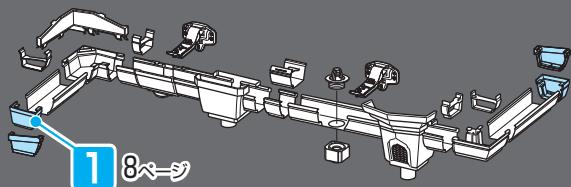


4 内押えを接着剤をかき取らないように 外パッキンを手前に広げながら軒とい 前耳の内側(外パッキンの内側)に はめ込む。

5 内押えの押えリブの先端を指で押さえ 込む。



⑧止まりの施工



1 8ページ

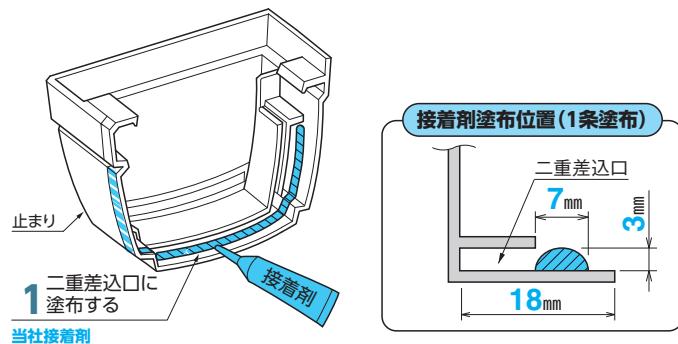


必ず守る

■接着剤は必ず接着剤塗布位置に切れ目なく塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

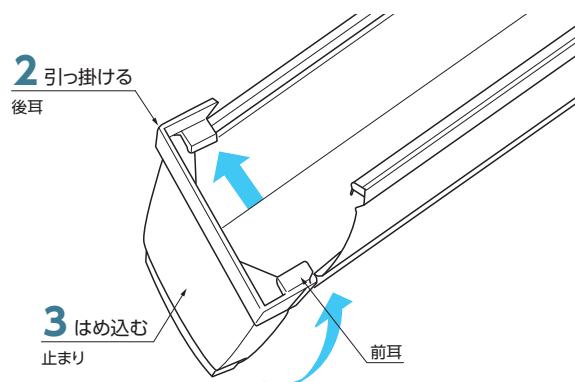
1 止まりの施工

- 1** 止まりの二重差入口に接着剤を全周ひも状に
切れ目なく塗布する。
(当社接着剤)



- 2** 止まりの後耳部を軒といい後耳に引っ掛ける。

- 3** 軒といい後耳に引っ掛け回すようにしながら
前耳部をはめ込む。

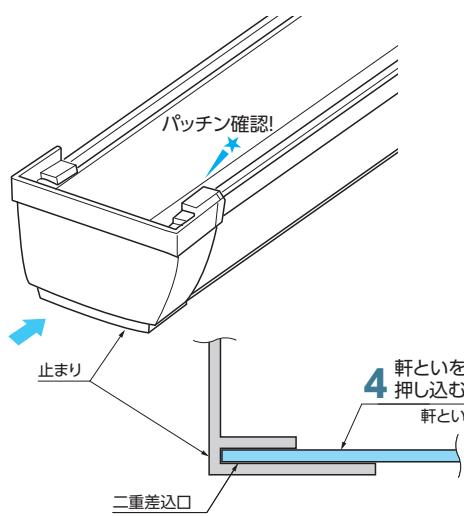
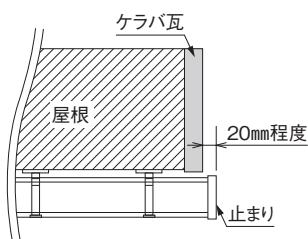


- 4** 止まりの二重差入口の奥まで、軒といいを押し込む。

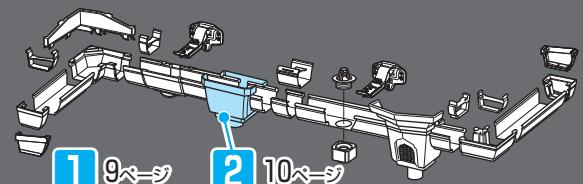
お願い

- 接着剤が軒とい・止まりの外側に、はみ出したり、付着したりした場合、放置しておくとその部分が変色しますので布ですばやくふき取ってください。

- 一般的な切妻屋根の場合、軒といをケラバ瓦より20mm程度出して雨水を受けるようにしてください。

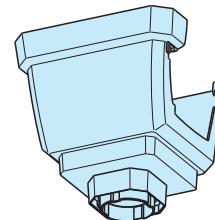


⑨落し口の施工(集水器)



- 集水器は軒といの伸縮を逃がす役割もあるため軒といと接着しません。

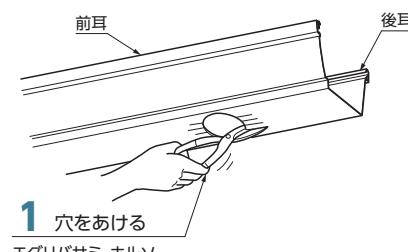
すっきり集水器



1 軒とい側の施工

【軒といの耳を残す施工方法】

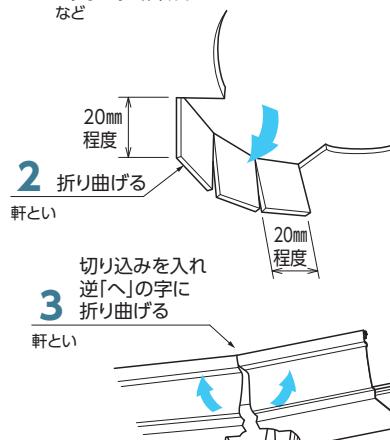
- 1 軒といを切り離さない場合は、軒といの落し口位置の底面にエグリバサミまたは、ホルソーで穴を開ける。



- 2 軒といを右図のようにたんざくに切り込みを入れて、折り曲げる。(オダレ加工)

お願い

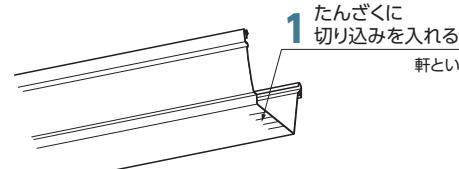
- 切断面は接着剤を塗布し、端面処理をした方が端面のさび発生の防止には効果的です。



- 3 軒といに切り込みを入れて、逆「へ」の字に折り曲げる。軒といは水勾配をとって施工する。
(水勾配は1/1000~5/1000)

【軒といの縁切り施工方法】

- 1 軒といを切断し端面底部を図のようにたんざくに切り込みを入れる。

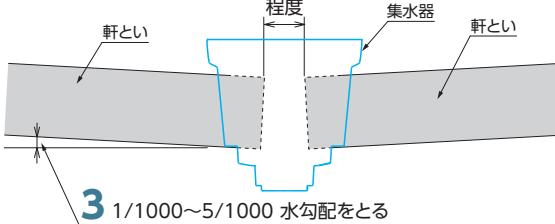


- 2 たんざく部分を折り曲げる。(オダレ加工)



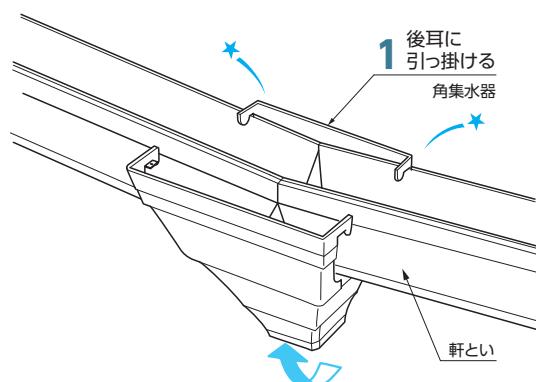
- 3 軒といは水勾配をとって施工する。
(水勾配は1/1000~5/1000)

縁切施工の場合、集水器内の軒とい間隔は60mm程度
(落し口と同等の間隔)を開けて施工してください。

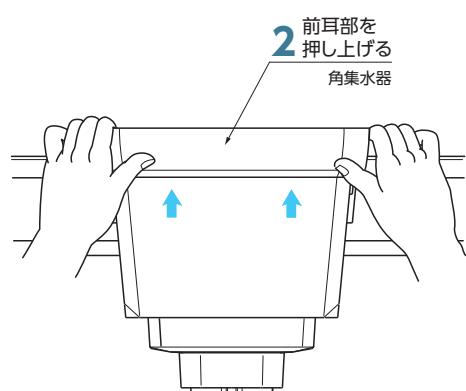


2 集水器の施工

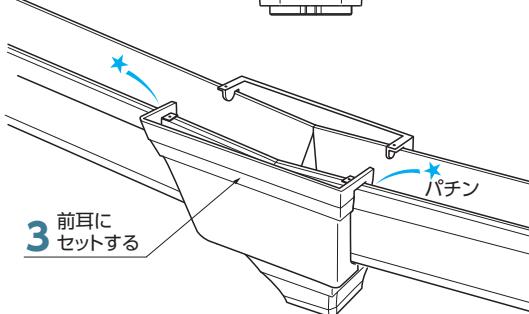
1 集水器の後耳部を軒といの後耳に引っ掛ける。



2 集水器を起こして、両手の親指で集水器の前耳部を押し上げる。

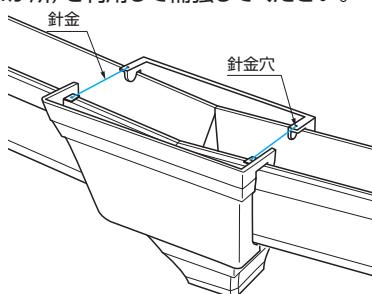


3 軒といの前耳にセットする。
(パチンと音がする。)

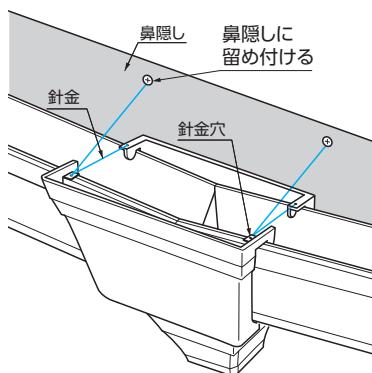


お願い

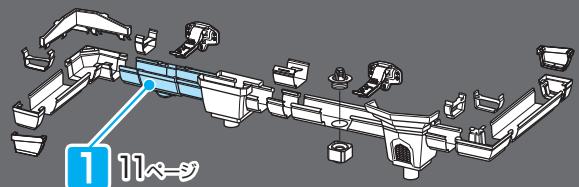
- 積雪、強風などの予想される場合は、針金穴(4か所)を利用して補強してください。



- 多雪地は、針金穴(4か所)を補強した後、針金を鼻隠しに留め付けてください。



⑨落し口の施工(F型集水器)



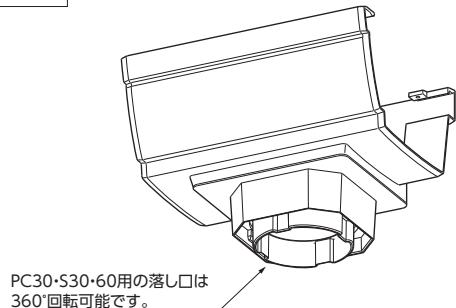
注意



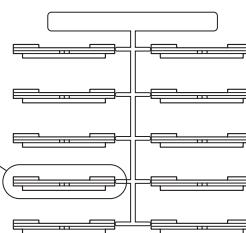
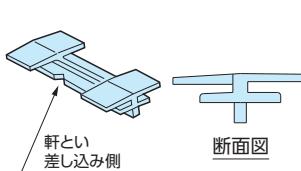
■接着剤は必ず接着剤塗布位置に切れ目なく塗布する
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

■F型集水器は形状が軒といに近く、落し口のオダレ加工が困難なため、スライドストッパーを取り付ける
水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。

F型集水器

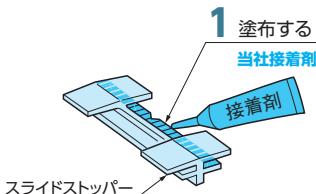


スライドストッパー



1 F型集水器の施工

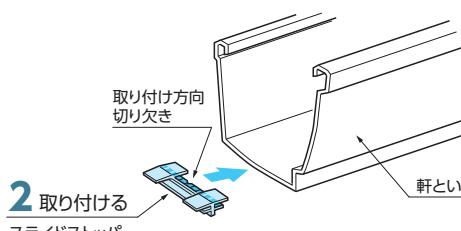
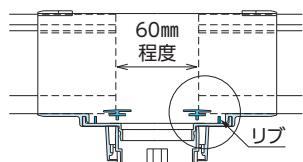
- 1 スライドストッパーの差し込み部に接着剤を塗布する。



- 2 F型集水器を取り付ける側の両方の軒とい端面にスライドストッパーを取り付ける。

お願い

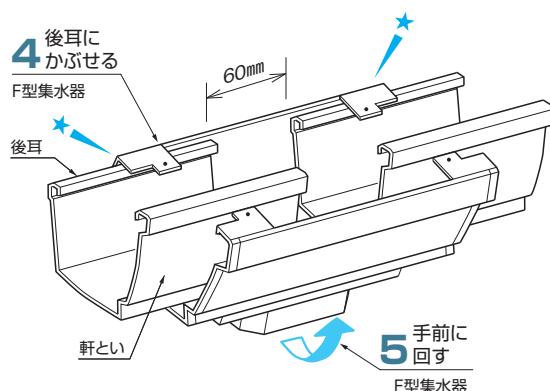
- スライドストッパーは必ずリブより内側に付けてください。



ジェイスケア PJ70／⑨落し口の施工(F型集水器)

4 F型集水器の後耳部を軒とい後耳にかぶせる。

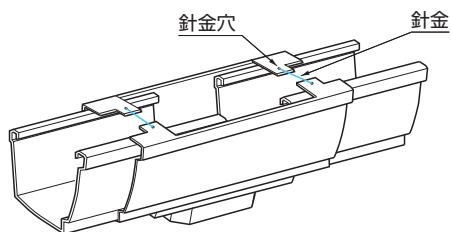
5 F型集水器を手前に回す。



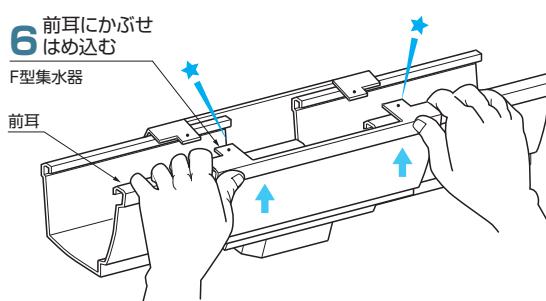
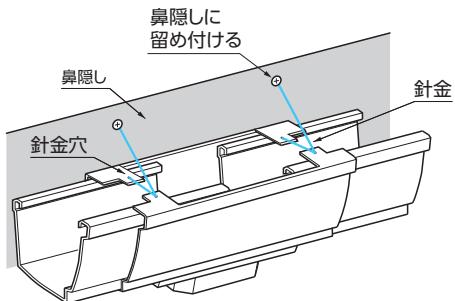
6 F型集水器を軒とい前耳にかぶせはめ込む。

お願い

- 積雪・強風などの予想される場合は、針金穴(4か所)を利用して補強してください。

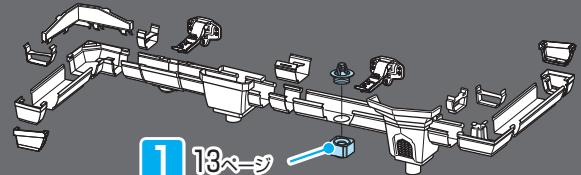


- 多雪地は、針金穴(4か所)を補強した後、針金を鼻隠しに留め付けてください。



⑨落し口の施工(自在ドレン)

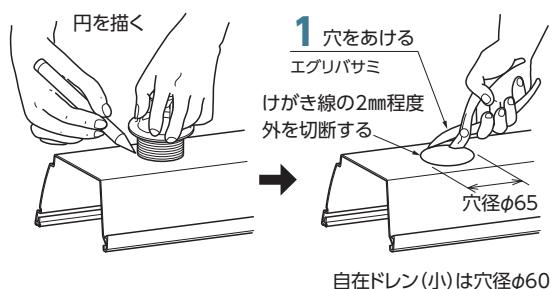
1 18ページ



1 落し口の取り付け(自在ドレン)

- 1** 自在ドレンを取り付ける位置に
エグリバサミまたはホルソーで穴を
あける。
●自在ドレン60………穴径65mm
●自在ドレン60(小) ……穴径60mm

[エグリバサミの場合]

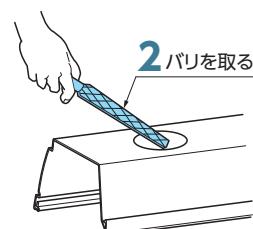


[ホルソーの場合]



- 2** 加工部分のバリを取り、隙間が出ないようにする。
(水漏れ防止のため)

お願い

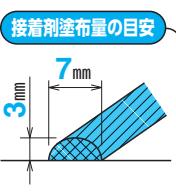
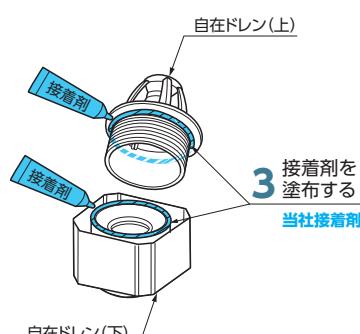


- 3** 自在ドレン(上)のツバの裏側と自在ドレン(下)の接続面
に接着剤を全周ひも状に切れ目なく塗布する。

(当社接着剤)

お願い

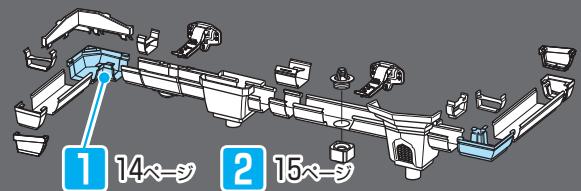
- 当社品以外の接着剤を使用すると、変形・割れが発生するおそれがありますので、必ず当社接着剤をお使いください。
- 当社品でも、塗布量が多くなると変形・割れが発生することがあります。
- 特に高耐候性仕様の商品の場合、接着剤を増し塗りしたり、当社タニシールなどコーティング剤を使用したりすると、変形や割れが発生しやすくなりますのでおやめください。



- 4** 自在ドレン(上)と自在ドレン(下)を、軒といの穴を開けた
部分に取り付ける。



⑩入母屋曲り・入母屋てり曲り納まり方



1 入母屋曲り納まり方

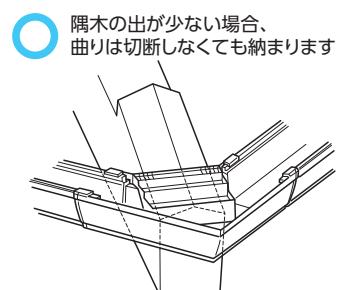
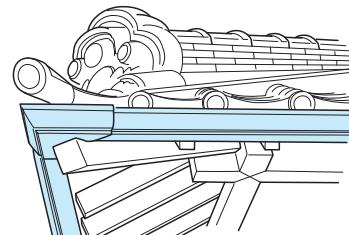
【標準納まり】

(食い込み代の切断、取り除きが不要な場合)

- 隅木の出が少ない場合、曲りは切断しなくても納まります。

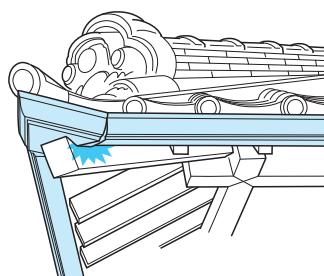
お願い

- 構造上排水能力が低いため、水上位置にご使用ください。
- 施工時は落し口を4辺に設けてください。
- 入母屋曲りをご使用の場合は排水上各軒先に1か所以上落し口を設けてください。
 - ①隅木が当たる場合、出調整が3段階に切斷できます。
 - ②隅木の出に合わせて、ノコで切斷し切り取るだけで、隅木を食え込むように取り付けできます。
 - ③隅木を避ける面倒な手加工が要りません。



【入母屋曲り加工方法】

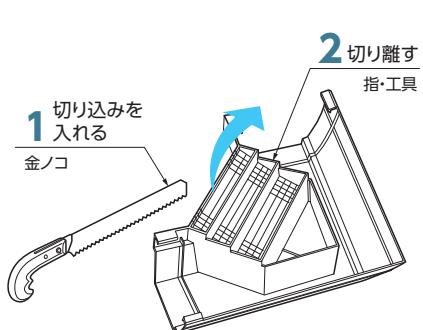
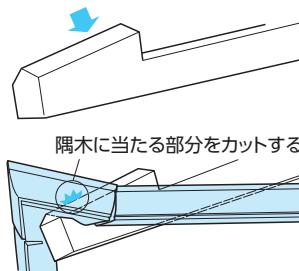
(食い込み代の切断、取り除きが必要な収め方)



(隅木納まり部・切斷について)

- 1 隅木幅および長さに合わせて、ノコで切り込みを入れる。
- 2 工具を使用して切り離す。

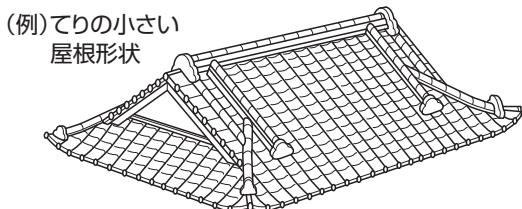
隅木の出が大きい場合、曲りが当たり、納まりません



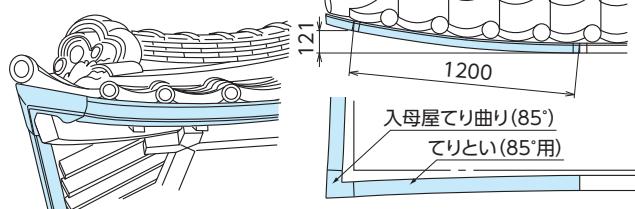
2 入母屋てり曲り納まり方

[入母屋てり曲り85°・75°の用途]

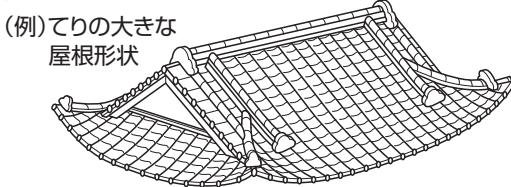
- てりとい85°は、てりのみの軒といいます。



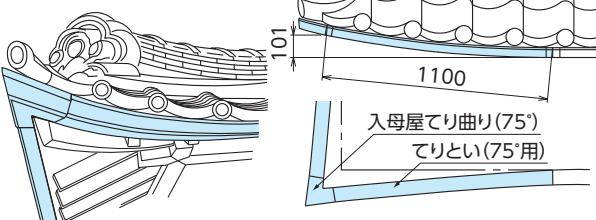
■てりの小さい場合(85°)



- てりとい75°は、てりと上から見てRが付いている軒といいますので、軒先が全体に大きく沿った屋根に適しています。



■てりの大きい場合(75°)

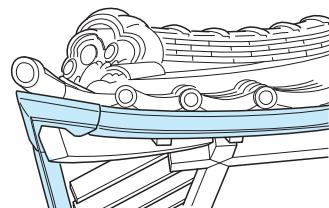


[標準納まり]

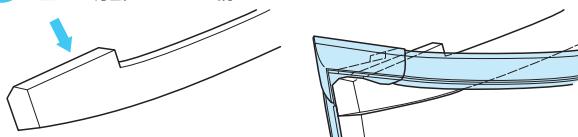
(食い込み代の切断、取り除きが不要な場合)

お願い

- 入母屋てり曲りは、隅木の先端に山勾配がある場合にご使用ください。
- 構造上排水能力が低いため、水上位置にご使用ください。
- 施工時は落し口を4辺に設けてください。
- 入母屋曲りをご使用の場合は排水上各軒先に1か所以上落し口を設けてください。
 - 隅木の先端山勾配に合わせて、少量の切り込み調整が可能です。
 - 隅木の上にのせて施工できますので、面倒な加工が不要です。



隅木の山勾配が少ない場合、曲りは切断しなくても納まります

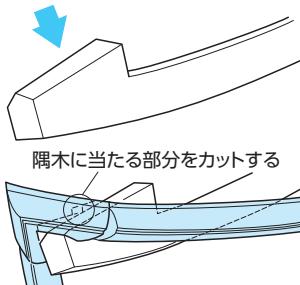


[入母屋てり曲り加工方法]

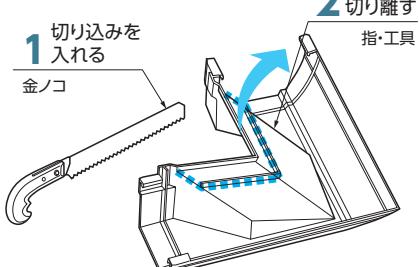
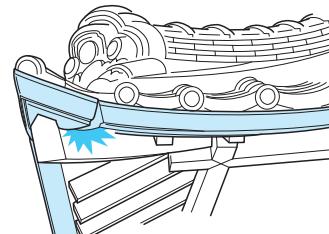
(食い込み代の切断、取り除きが必要な場合)

1 隅木幅および、長さに合わせて、金ノコで切り込みを入れる。

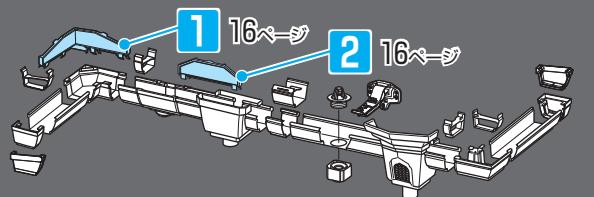
× 隅木の山勾配が大きい場合、曲りが当たり、納まりません



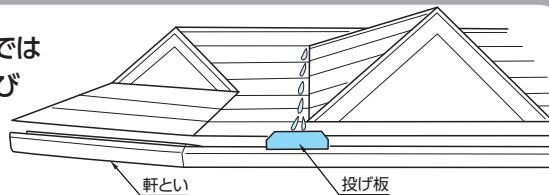
2 指もしくは工具を使用して切り離す。



内飾り板、投げ板の施工

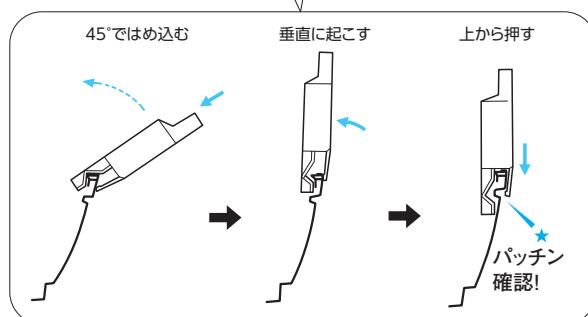
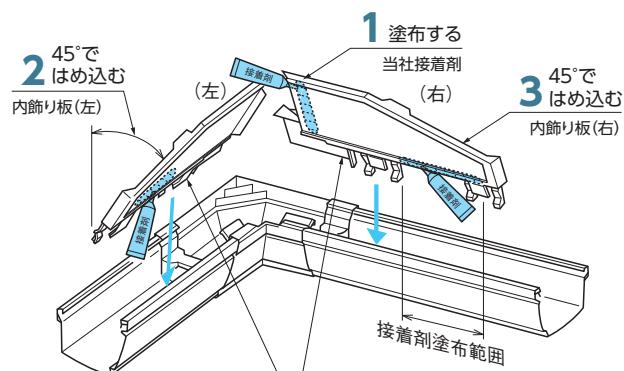


■右図屋根のような納まりの場合、特に谷部では一度にたくさんの雨水が流れ、雨といを飛び越えやすいため、投げ板を使用する水漏れにより建物を傷めるおそれがあります。



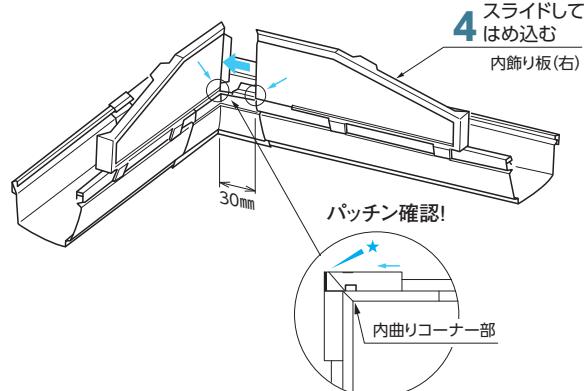
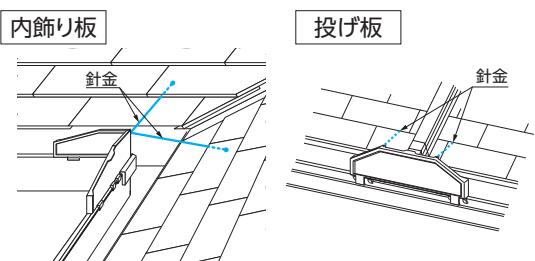
1 内飾り板の取り付け (左・右)

- 1 接着剤を軒とい接着面に塗布する。(当社接着剤)
- 2 内飾り板(左)の下部先端を曲りコーナー部に位置を合わせ、45°ではめ込み、垂直に起こして上部から押し、はめ込む。
- 3 内飾り板(右)の下部先端を曲りコーナー部から30mm程度離して、2と同様にはめ込む。
- 4 内飾り板(右)を左にスライドして、内飾り板(左)にカチッとはめ込む。



お願い

- 積雪のおそれのある地域では、針金穴を利用して補強してください。



2 投げ板の取り付け

- 1 投げ板も飾り板と同様に1~3の方法ではめ込んでください。